

概要

ATCエイジレスセンターは、誰もがいつまでも年齢やハンディに関係なく、豊かな生活を送るための製品やサービスを展示する総合生活提案館です。

1996年4月に、超高齢化社会の到来を見据え、健康・福祉・介護分野の情報発信拠点として、そして関連分野の産業振興を目的に、大阪市とアジア太平洋トレードセンター株式会社による実行委員会によって開設されました。開設以来、出展企業様と共に、各種製品やサービスの展示、イベント・セミナーを通して様々な情報を発信しています。

また、介護予防を目的に、近隣地域の高齢者へ会場の貸し出しも行っており、高齢者の健康増進や地域コミュニティーの活性化にも貢献しています。







■施設概要

施設名称:ATCエイジレスセンター

住 所:大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟11階

開館時間:10:00~16:30 (毎週月曜、年末年始 休館)

※現在、新型コロナウイルス感染予防のため、閉館時間を17:00から16:30に変更しています。

面 積:5,000㎡

主 催:ATCエイジレスセンター実行委員会(大阪市、アジア太平洋トレードセンター株式会社)

後 援:経済産業省、大阪府、大阪商工会議所、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、独立行政法人福祉医療機構、

一般社団法人シルバーサービス振興会、一般社団法人長寿社会開発センター、公益財団法人テクノエイド協会、

一般社団法人大阪府医師会、一般社団法人大阪府歯科医師会、一般社団法人大阪府薬剤師会、公益財団法人関西・大阪21世紀協会、

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会、公益社団法人全国有料老人ホーム協会



油遊館

lego

ロケーション

ATCエイジレスセンターは、大阪ベイエリア(湾岸部)の「咲洲地区」にある、ATC(アジア太平洋ト レードセンター)内に設置されています。

ATCとは、

- ①延べ床面積335,000㎡、年間来場者約700万人のテナントやオフィスが入居する複合施設。
- ②Osaka Metro「トレードセンター前」駅直結。車でも阪神高速出入口からのアクセスも良く、大阪 だけではなく、近畿2府4県から多くの来場があります。

大阪ベイエリアとは、

大阪湾岸部の咲洲、舞洲、夢洲、大阪 港などのエリア。夢洲では、2025年 の大阪・関西万博の開催が決定し、IR 誘致の候補地にもなっている。







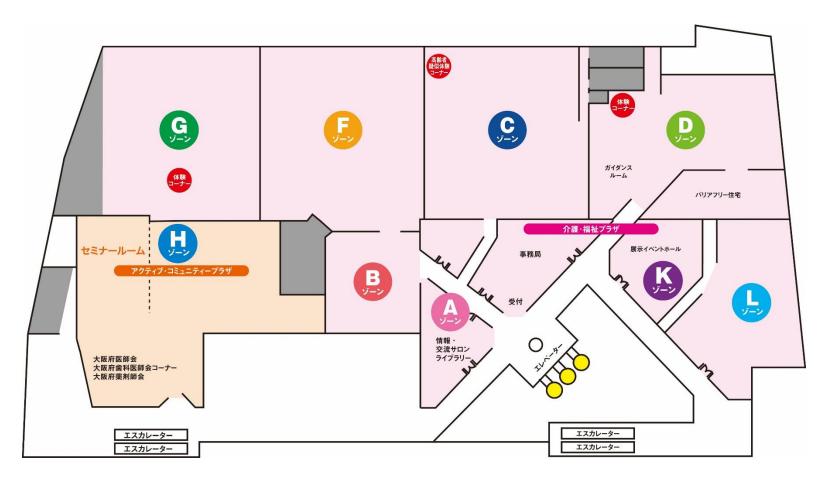




展示場のご紹介

センター内では、各ゾーンごとに歩行支援機器、移動機器、入浴・排泄機器、自助具、見守り機器などを展示しています。

また、バリアフリー住宅改修のモデルルームや、セミナー・イベントを開催するセミナールームや展示イベントホールもあります。





<u>Bゾーン</u>

介護保険制度の紹介や、介護保険で貸与・ 購入できる福祉用具の品目を紹介していま す。









Cゾーン

介護ベッドや入浴・排泄関連・リフトなど、 ご自宅の中で使う機器の展示をしています。 また、コミュケーションロボットや見守り センサーも展示しています。











Dゾーン

バリアフリー住宅のモデルルームがあり、 住宅改修前後の比較をご確認いただけます。









Fゾーン

シルバーカー・歩行車、福祉車両といった 移動機器を展示。シルバーカー・歩行車は 約80台を展示。

要援護者の防災グッズも展示しています。











<u>Gゾーン</u>

車いすや階段昇降機などの移動機器を展示。 リハビリ関連機器も展示しています。









体験コーナー

- ・車いす体験コーナー 実際に車いすに乗ってドアの開閉や段差乗り越え、グレーチング上の通行などを体験できます。
- ・電動車いす介助体験コーナー 日常生活において避けることのできない坂道を使って、 電動車いすの機能を体験できます。
- ・高齢者疑似体験コーナー 専用装具を付けて、加齢による身体の変化を体験できます。





